

地元の味をかみしめながら

給食の食材提供農家と生徒が会食

村の学校給食に食材を提供している生産農家と生徒との会食が11月18日、飯館中学校で行われました。

これは、生徒たちに地産地消や食生活への理解を深めてもらおうと村が行ったもので、この日は鈴木秀範さん（上飯樋）が学校を訪れ、1年1組の生徒たちと給食を一緒にしました。

鈴木さんは、学校給食に食材を提供している「にっここ生産クラブ」の代表を務めており、にんじんやピーマン、ブロッコリーなどの野菜を提供しています。

会食では、鈴木さんから「皆さんも勉強しますが、私たち農家も品質の良い野菜をつくるために日々勉強しています」と、農業経営の実態等に

ついて説明がなされ、生徒たちはうなずきながら鈴木さんの話を聞いていました。

この日の給食には、鈴木さんのじゃがいもを使った磯煮が出され、食べた生徒たちの評判も上々。

会食を終えた鈴木さんは「これからも、食べる人に喜んでもらえるような食材を提供していきたい」と抱負を話していました。



▲生徒たちと会食する鈴木さん（写真中央）

旧友と過ごす楽しいひと時

—70歳到達同級会—

11月6日、「70歳到達同級会」が宿泊体験館きこりにて行われ、参加した60人の同級生たちが旧交を温めました。

この同級会は、平成14年度に敬老会の招待者年齢が70歳から75歳に引き上げられたことから、70歳の節目の年に同級会を行い、敬老会に招待されるまでの間、お互いの長寿を誓い合うことなどを目的に、対象者で組織する実行委員会と村が開催しているものです。

今年も対象者10人による実行委員会（高橋二郎実行委員長）を結成し、準備を進めてきました。

同級会では、はじめに菅野村長から「今日は皆さんが主役。楽しい同級会にしてください」とあいさつされたのに続き、高橋実行委員長から「旧飯曾村と旧大館村の同級



▲同級会のようす



▲中学校の卒業写真を紹介する高橋実行委員長

生が一緒に同級会を行うのは今日が初めて。大いに楽しく、意義ある同級会にしましょう」とあいさつが述べられました。

その後に行われた懇親パーティーでは、中学校の卒業写真や当時の授業風景など懐かしい写真をスクリーンに映し、青春時代を振り返ったほか、参加者による演芸も披露され、会場内は終始和やかな雰囲気包まれました。



▲同級生による華やかな演芸ショー